１２月定例議会報告
子供医療費高校生まで無料化実現　4月実施

１２月議会報告

横瀬町議会１２月定例会が開催されました。

子供医療費１８歳まで無料

今議会の条例改正で、４月からの子供医療費が１８歳まで延長することになりました。子育てにやさしい町の取り組みとして一歩前進しました。

学童保育の保育料変わらず

学童保育の保育料の値下げを求めたのに対しては、近隣市町村の動向を見てとのことでした。

官民連携プラットフォーム審査会条例

今定例会は官民連携プラットフォーム事業での審査会条例の専決処分が議案としてありました。

専決処分とは議会を開催する暇がない時に町長が議会の同意なく条例を決定することをいいます。

異例の８人の議員からの質疑があり、反対討論２人　賛成討論２名

採決の結果は賛成６名、反対５名というきわどい結果でした。

浅見議員の反対討論

今議案は時間的に緊急を要するという理由は見いだせず、臨時議会を開催することは十分に可能であり、私も議会人としてこの事業を積極的に応援するものであり、いつ招集がかかっても対応は可能でした。町長はスピード感が大事といい、合意形成を図りながら進めていくと述べています。

この専決を決める過程も町の英知でもって進めたのかも疑問が残ります。これでよいのか一歩足を停め検証してみることも大事ではないかと考えます。決済にあたり、関わった町幹部はどうであったか、安易に決定したのではないでしょうか。

議決に責任を持つ議員として、議会軽視を認めるわけにはいきません。

議員としての存在価値を示すため、議会の権威を示すためにもこの議案に反対します。

反対討論　阿左美議員

賛成討論　大野議員　内藤議員

一般質問

浅見議員

問　地域支援事業は、介護保険の被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防するとともに、要介護状態等となったとしても、可能な限り、地域において自立した日常生活を営むことができるようにとあります。是非支援を強め安心して暮らしていけるような制度充実に努めていただきたい。日常生活総合支援事業について、事業者への利用料の算定等どのような対応を行っているか。また予算措置はどうか。

答　健康づくり課長　秩父郡市１市４町で事前協議を行い、事業者からの要望に沿って単価決定を行ってきた。予算措置は介護保険給付の対象であり従来と同じです。

問　放課後対策事業と学童保育の拡充策を示してください。

答　教育次長　学童保育と連携し利用者のニーズに応えるように努めます。

問　学童保育の利用料を下げ働く家庭の支援を進める用意があるか

答　子育て支援課長　近隣市町村の動向を見ながら検討課題とします。

問　横瀬町における地球温暖化対策・省エネ策の取り組み状況と職員育成は

答　振興課長　温暖化対策実行計画に沿って進めている。職員の育成は計画的に進めていきたい

１２月議会の議案

専決処分を求める議案

・横瀬町官民連携プラットフォーム審査会条例

・横瀬町特別職の職員で非常勤職員のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

条例改正

・子供医療費支給に関する条例

・税条例の一部改正

・職員の配偶者同行休業に関する一部改正

・特定地域保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正

・小学校等入学祝い金支給条例の一部改正

補正予算

・一般会計補正予算

・国民健康保険特別会計補正予算

・介護保険特別会計補正予算

議員発議

浅見議員による「所得税法５６条の見直しを求める意見書提出について」

賛同者　若林清平議員

前回９月議会で所得税法５６条の廃止を求める意見書が賛成少数で否決されたため、見直しということで発議しました。

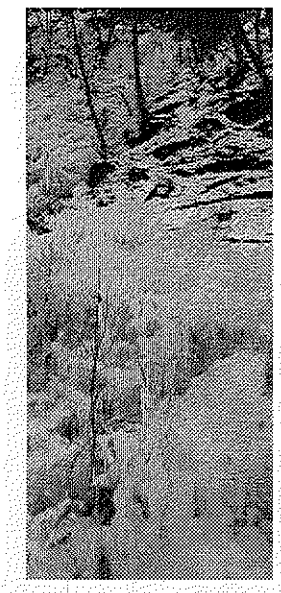
反対討論が公明党の宮原議員からありました。前回９月議会においての反対討論で「見直しを求めるべきであり廃止だから反対と」のべていました。が今回は国の立法府のやることであり、地方議員が意見を出すべきではないというのが反対の趣旨でありました。

地方議員といえども必要なものは積極的に国等に働きかけていくべきものと考えます。

賛成議員　向井、浅見、新井、関根、若林清平各議員　５名

反対議員　黒澤、阿左美、宮原、内藤、大野、若林想一郎各議員　６名

残念ながら否決となりました。



芦ケ久保の氷柱